

## 家庭用品品質表示法による「法定品質表示」について

ハリオの耐熱ガラス製器具には、すべて「法定品質表示」がなされています。

用途によって『熱湯用』『電子レンジ用』『直火用』『オープン用』等の使用区分があり、それぞれ取扱いの上で違いがあります。

ご使用に際しては下記のような「法定品質表示」を充分お確かめください。

耐熱ガラス (ハリオ H-32)	<b>熱湯用</b> 耐熱温度差：120°C	 热汤が使えます 热汤用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。</li> <li>●洗う時は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。</li> <li>●使用区分以外には使用しないで下さい。</li> </ul>
	<b>電子レンジ用</b> 耐熱温度差：120°C	 電子レンジで使えます 電子レンジ用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。</li> <li>●空だきをしないで下さい。</li> <li>●洗う時は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。</li> <li>●使用区分以外には使用しないで下さい。</li> </ul>
	<b>オープン用</b> 耐熱温度差：120°C	 オープンで使えます オープン用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●調理の時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。</li> <li>●空だきをしないで下さい。</li> <li>●洗う時は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。</li> <li>●使用区分以外には使用しないで下さい。</li> </ul>
	<b>直火用</b> 耐熱温度差：150°C	 直火で使えます 直火用	<ul style="list-style-type: none"> <li>●火にかける時は外側の水滴をぬぐい、途中で差し水をする時は冷水をさけ、またガラスの部分が熱くなっている時はぬれた布でふれたり、ぬれた所に置かないで下さい。</li> <li>●空だきをしないで下さい。</li> <li>●洗う時は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。</li> <li>●突然一気に沸騰して湯が激しく吹き出す恐れがあるので、加熱中は顔などを近づけないで下さい。</li> <li>●加熱器具の中心に置き、必ず弱火で使用して下さい。</li> <li>●使用区分以外には使用しないで下さい。</li> </ul>
超耐熱ガラス	<b>直火用・オープン・電子レンジ用</b> 耐熱温度差：400°C		<ul style="list-style-type: none"> <li>●洗う時は、研磨剤入りたわし、金属たわしやクレンザーなどを使用しないで下さい。</li> <li>●突然一気に沸騰して湯が激しく吹き出す恐れがあるので、加熱中は顔などを近づけないで下さい。</li> <li>●加熱器具の中心に置き、必ず中火か弱火で使用して下さい。</li> <li>●使用区分以外には使用しないで下さい。</li> </ul>

## 耐熱温度差とは？

ガラスの部分を試料として、一定の温度に定めた恒温器の中に30分間保持した後、取り出して直ちに冷水中に1分間浸した時にその試料が破損しない温度差を表します。この場合の恒温器内の温度と冷水の温度差は、直火用は150°C以上、直火用以外のものは120°C以上と定められています。ハリオの耐熱ガラスは、品質表示法で定められている耐熱温度差を上まわる高品質品です。